

第五十三回宗像歌会

平成三十年三月十七日(土)

自由詠

こころ

めにはみえない
てにもとれない
あつたまつたり
ひえたりする

岡本 まさ子

題詠『別れ』

またね

そのうちね

が

悔いの残る

言葉になる

岡本 まさ子

今日はお雛さま
だけでなく

『耳の日』だって

聞かなくていい事と

聞くべき事を 心して

杉本 明美

年一度

やって来る 孫

可愛さ いっぱい

後で寂しい

諭吉との 別れ

山本 佳代子



はやりの「角打ち」
見知らぬ者同士の笑い声
体の芯まで温まり
長居せず別れゆく
粹だなあ

大槻 幸子



暖かい 布団から

そっと 足を出す

花よりも

足に 感じる

オラが 春

山本 佳代子

春色3月

肌寒い

木々の新芽も

わたしも

ふるえてる

玉田 久美子

“また会える”

という

希望を

心のどこかに温めて

別れられる幸せ

高原 美智子

